

年記念事業



るし)とあま市の歌の歌詞を作成しました。

した。あま市の歌については、小さい頃から親しんでいただけて、自然と口ずさみたくなる

あま市の歌の歌詞

【作成までの経緯】

令和元年5月から9月までの間、市民公募で、あま市の歌の歌詞に活用する「あまことば」の候補が、1729通集まりました。まちづくり委員会により「あまことば」を選定したのち、市民公募で応募のあった「なかむらまさみ氏」に「あまことば」が織りなすあま市の歌の歌詞を作成していただきました。

ずっと We Love あま！

作詞：なかむらまさみ

協力：あま市民 まちづくり委員会

あまあまあまあまあま みんなあま市がだいすき！

あまあまあまあまあま ずっとWe Love あま！

① 赤い電車^{あか でんしゃ}が真^ま直^{ちやう}ぐ 走るよガタゴトと^{はし}
甚目寺^{じもくじ}・七宝^{しっぽう}・美和^{みわ}と 笑顔^{えがお}を乗^のせて
むかしここは海^{うみ}辺^べと やさしく包^{つつ}み込^こむ
あいさつまあるく今日^{けふ}もまた ああ元^{げん}気^きだね
たおやかにゆれる穂^ほの 恵^{めぐ}みに感謝^{かんしゃ}
益^{ます}荒^ら男^おの声^{こゑ}が聞^きこえる 祭^{まつ}りの花^{はな}火^び
あまあまあまあまあま みんなあま市がだいすき！
あまあまあまあまあま ずっとWe Love あま！

② 真^ま心^{ごころ}いっばいうれしい 瞳^{ひとみ}もきらきと
にぎわう朝^{あさ}市^{いち}いいね 野^や菜^{さい}も躍^{おど}る
観^{かん}音^{のん}さまや寺^{てら}めぐり 昔^{むかし}がよみがえる
受^うけ継^つぐ見^み事^{ごと}なもののづくり ああ素^す晴^{はら}らしい
鮮^{あざ}やかな彩^{いろど}りの 七^{しち}宝^{ほう}焼^{やき}
漬^{つけ}物^{もの}と恋^{れん}愛^{あい}スポッ 萱^{かや}津^つの神^{かみ}様^{さま}
あまあまあまあまあま みんなあま市がだいすき！
あまあまあまあまあま ずっとWe Love あま！

③ 信^{しん}じた道^{みち}を貫^{つらぬ}き 差^さし出^だすやさしさに
だれもが讃^{たた}える気^き持^もち 抱^だいて生^いきる
きっといいことあるよと がっちり手^てをつなぐ
しあわせのたね見^みつけよう ああときめくね
ハナミズキゆりの花^{はな} あまえん坊^{ぼう}も
未^み来^{らい}図^ずを掲^かげる思^{おも}いに 弾^{はじ}ける夢^{ゆめ}色^{いろ}
あまあまあまあまあま みんなあま市がだいすき！
あまあまあまあまあま ずっとWe Love あま！

●作詞者のコメント●

わたしは、子どもから大人までが楽しめる歌をつくっています。この「あま市の歌」でも、同じ考え方でみなさんに親しんでいただけるとともに、あま市のよさや思いを発信できるような歌詞にしようと努めました。1番は、「やさしさと力強さのあるあま市」を、2番は「歴史と文化がにぎわうあま市」を、3番は「未来に向かうあま市」を表現しました。全体を通して、一人でも多くの人に、よりあま市を知っていただけたらと切に望みます。最後に、1・2・3番のはじめの文字をつなぐと「あ・ま・し」であることを申し添えます。この歌をよろしくお願いします。

☎444・1712 FAX444・0982



あま市制10周

令和2年3月22日のあま市制10周年を記念してあま市のシンボルマーク(愛称:あまじあまじるし)には市を象徴するものとして、市民の皆様にも愛されるような作品を選定するような歌詞としました。曲をつけた市の歌の完成は令和2年の夏頃の予定です。

あまじるし

【選定までの経緯】

令和元年5月から6月までの公募で、全国から449作品の応募がありました。市民17人で構成するまちづくり委員会による一次選考で、12作品の候補を選定していただきました。

10月に、「市民活動祭あまのわ」の会場で市民投票による二次選考で、上位3作品を決定しました。上位3作品の中から、市長による最終選考で、あまじるしを選定しました。



●作成者のコメント●

多くの応募の中から私の作品を採用いただきまして誠にありがとうございました。作品は「あま市」の頭文字の「あ」を元気な「あまっ子(あま市の子どもたち)」の笑顔を融合し、安全で住みやすいあま市をイメージし制作させていただきました。市民の皆様にも愛され親しまれるシンボルマークになれば幸いです。ありがとうございました。

「あまじるし」を使用したい方は企画政策課(本庁舎)までお問い合わせください。

問合せ先 企画政策課